

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 三浦工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6005 URL https://www.miuraz.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 宮内 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 廣井 政幸 TEL 089-979-7012  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	29,256	6.6	3,117	1.0	3,579	10.2	2,479	7.6	2,456	6.0	4,911	139.8
2022年3月期第1四半期	27,438	△0.8	3,086	21.9	3,249	23.1	2,303	29.0	2,316	29.9	2,048	△28.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.71	21.68
2022年3月期第1四半期	20.55	20.51

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	218,242	163,069	162,593	74.5
2022年3月期	219,154	160,235	160,196	73.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	22.00	39.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	19.00	—	22.00	41.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	72,500	9.5	9,400	1.4	10,000	5.9	7,200	6.2	63.80
通期	155,000	8.0	20,000	2.9	21,200	3.8	15,200	5.4	134.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無



そのひらめきに、愛はあるか。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	125,291,112株	2022年3月期	125,291,112株
2023年3月期1Q	12,166,765株	2022年3月期	12,165,220株
2023年3月期1Q	113,125,382株	2022年3月期1Q	112,736,969株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。



そのひらめきに、愛はあるか。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束には至っていませんが、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置などの行動制限はなく、営業活動への影響は限定的でありました。しかしながら、中国上海市のロックダウンによるサプライチェーンへの影響、原材料価格の上昇、半導体不足や地政学的な問題もあり、先行きの不透明感は依然として続いております。

このような状況の中で当社グループは、お客様と社員の安全確保を第一優先とし、感染防止対策を実施した上で、お客様とより繋がる事を目指して、お客様目線で工場インフラを中心とした「トータルソリューション」の提案活動を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、国内においては、機器販売事業では船用機器、小型貫流ボイラ及び関連機器の販売が堅調に推移しており、メンテナンス事業も堅調に推移しております。ランドリー事業は、株式会社ヤブサメの新規連結の影響もあり、販売が増加しております。海外においては、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限により、業績が低調に推移している国や地域はありますが、米州では販売店との営業活動が活発となるなど、事業環境が上向いたことや為替の影響もあり、売上が増加しております。利益面につきましては、原材料価格の上昇や営業活動の活発化により経費の増加はありましたが、増収効果もあり、増益となりました。この結果、売上収益は29,256百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は3,117百万円(前年同期比1.0%増)、税引前四半期利益は3,579百万円(前年同期比10.2%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,456百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

セグメントの経営成績の状況は、以下のとおりであります。

#### ①国内機器販売事業

国内機器販売事業において、船用機器、小型貫流ボイラ及び関連機器の販売が堅調に推移しております。この結果、当事業の売上収益は11,393百万円と前年同期(10,879百万円)に比べ4.7%増となりました。セグメント利益につきましては、原材料価格の上昇や営業活動に伴う費用の増加により、236百万円と前年同期(338百万円)に比べ30.2%減となりました。

#### ②国内メンテナンス事業

国内メンテナンス事業は、有償保守契約件数の増加により売上を伸ばしました。この結果、当事業の売上収益は8,810百万円と前年同期(8,616百万円)に比べ2.3%増となりました。セグメント利益につきましては、2,399百万円と前年同期(2,383百万円)に比べ0.7%増となりました。

#### ③国内ランドリー事業

国内ランドリー事業は、新規連結の影響やアフターコロナに向けた生産性の向上、省人化や省エネなどを目的とする老朽化設備更新への需要回復がみられ、売上が増加しました。この結果、当事業の売上収益は2,905百万円と前年同期(2,427百万円)に比べ19.7%増となりました。売上収益は増加したものの、無形資産の償却により、セグメント損失は43百万円(前年同期はセグメント損失110百万円)となりました。

#### ④海外機器販売事業

海外機器販売事業は、中国での新型コロナウイルス感染症によるロックダウンや、韓国の景気低迷により売上が低調に推移しましたが、米州でボイラ販売が伸びていることもあり、売上が増加しました。この結果、当事業の売上収益は4,054百万円と前年同期(3,793百万円)に比べ6.9%増となりました。セグメント利益につきましては、350百万円と前年同期(190百万円)に比べ84.2%増となりました。

#### ⑤海外メンテナンス事業

海外メンテナンス事業は、中国で新型コロナウイルス感染症の影響が出ておりますが、各国での有償保守契約の積極的な取得により売上を伸ばしました。この結果、当事業の売上収益は2,079百万円と前年同期(1,707百万円)に比べ21.8%増となりました。セグメント利益につきましては、米国人の人員増加による人件費の増加もあり、299百万円と前年同期(300百万円)に比べ0.5%減となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)	増減
資産合計	219,154	218,242	△912
負債合計	58,919	55,172	△3,746
資本合計	160,235	163,069	2,833

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は、前連結会計年度末に比べ912百万円減少し、218,242百万円となりました。流動資産は、主に営業債権及びその他の債権が8,044百万円減少し、一方で、棚卸資産が4,799百万円増加したことにより、2,780百万円の減少となりました。非流動資産は、主にその他の金融資産が1,082百万円増加したことにより、1,867百万円の増加となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,746百万円減少し、55,172百万円となりました。流動負債は、主に未払法人所得税等が3,144百万円、その他の流動負債が2,910百万円それぞれ減少し、一方で、契約負債が4,210百万円増加したことにより、4,057百万円の減少となりました。非流動負債は、主にその他の非流動負債が312百万円増加したことにより、311百万円の増加となりました。

資本合計は、主にその他の資本の構成要素が2,429百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2,833百万円増加し、163,069百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は74.5%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ収入が1,305百万円増加し、3,112百万円の収入となりました。これは主に「営業債務及びその他の債務の減少による支出」が増加したものの、「営業債権及びその他の債権の減少による収入」及び「契約負債の増加による収入」が増加したためです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ収入が689百万円増加し、3,804百万円の支出となりました。これは主に「定期預金の預入による支出」が増加したものの、「定期預金の払戻による収入」が増加したためです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ支出が421百万円増加し、3,677百万円の支出となりました。これは主に「短期借入金の減少による支出」及び「配当金の支払額」が増加したためです。

以上により、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ3,499百万円減少し、36,541百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	40,041	36,541
営業債権及びその他の債権	42,681	34,636
その他の金融資産	17,874	20,542
棚卸資産	23,436	28,236
その他の流動資産	898	2,195
流動資産合計	124,932	122,152
非流動資産		
有形固定資産	41,446	41,715
使用権資産	7,532	7,852
のれん及び無形資産	14,132	14,675
持分法で会計処理されている投資	14,613	14,437
その他の金融資産	13,224	14,307
退職給付に係る資産	875	870
繰延税金資産	2,159	2,113
その他の非流動資産	236	116
非流動資産合計	94,222	96,089
資産合計	219,154	218,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	2,595	2,719
営業債務及びその他の債務	15,916	13,682
その他の金融負債	2,085	1,988
未払法人所得税等	4,156	1,011
引当金	740	734
契約負債	13,384	17,594
その他の流動負債	12,928	10,018
流動負債合計	51,806	47,748
非流動負債		
リース負債	4,656	4,837
その他の金融負債	562	417
退職給付に係る負債	76	83
引当金	1	1
繰延税金負債	1,442	1,398
その他の非流動負債	373	685
非流動負債合計	7,112	7,424
負債合計	58,919	55,172
資本		
資本金	9,544	9,544
資本剰余金	12,393	12,393
利益剰余金	139,135	139,103
自己株式	△6,697	△6,697
その他の資本の構成要素	5,820	8,250
親会社の所有者に帰属する持分合計	160,196	162,593
非支配持分	39	475
資本合計	160,235	163,069
負債及び資本合計	219,154	218,242

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	27,438	29,256
売上原価	15,589	16,691
売上総利益	11,848	12,565
販売費及び一般管理費	9,005	9,655
その他の収益	267	243
その他の費用	24	35
営業利益	3,086	3,117
金融収益	182	369
金融費用	19	28
持分法による投資損益	—	121
税引前四半期利益	3,249	3,579
法人所得税費用	945	1,100
四半期利益	2,303	2,479
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,316	2,456
非支配持分	△12	22
四半期利益	2,303	2,479
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	20.55円	21.71円
希薄化後1株当たり四半期利益	20.51円	21.68円



(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	2,303	2,479
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△504	59
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	49
純損益に振り替えられることのない項目合計	△504	109
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	248	2,164
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	158
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	248	2,322
税引後その他の包括利益	△255	2,432
四半期包括利益	2,048	4,911
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,062	4,886
非支配持分	△14	25
四半期包括利益	2,048	4,911

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産	
2021年4月1日	9,544	10,839	129,168	△6,913	3,058	
四半期利益	—	—	2,316	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	△504	
四半期包括利益合計	—	—	2,316	—	△504	
配当金	—	—	△2,367	—	—	
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	
企業結合による変動	—	—	—	—	—	
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	209	—	△209	
所有者との取引額等合計	—	—	△2,157	△0	△209	
2021年6月30日	9,544	10,839	129,327	△6,913	2,344	

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社における その他の包括 利益に対する 持分	合計				
2021年4月1日	△250	—	2,807	145,447	51	145,498
四半期利益	—	—	—	2,316	△12	2,303
その他の包括利益	249	—	△254	△254	△1	△255
四半期包括利益合計	249	—	△254	2,062	△14	2,048
配当金	—	—	—	△2,367	—	△2,367
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	△209	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△209	△2,367	—	△2,367
2021年6月30日	△1	—	2,343	145,141	37	145,179

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素
2022年4月1日	9,544	12,393	139,135	△6,697	2,606
四半期利益	—	—	2,456	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	59
四半期包括利益合計	—	—	2,456	—	59
配当金	—	—	△2,488	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2,488	—	—
2022年6月30日	9,544	12,393	139,103	△6,697	2,666

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計			
2022年4月1日	2,874	339	5,820	160,196	39	160,235
四半期利益	—	—	—	2,456	22	2,479
その他の包括利益	2,162	208	2,429	2,429	2	2,432
四半期包括利益合計	2,162	208	2,429	4,886	25	4,911
配当金	—	—	—	△2,488	—	△2,488
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	410	410
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	—	△2,488	410	△2,077
2022年6月30日	5,037	547	8,250	162,593	475	163,069

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,249	3,579
減価償却費及び償却費	1,708	1,754
持分法による投資損益(△は益)	—	△121
受取利息及び受取配当金	△136	△175
為替差損益(△は益)	△7	△286
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	5,574	8,573
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,250	△3,805
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△949	△2,523
未払賞与の増減額(△は減少)	△3,322	△3,814
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△26	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	0
契約負債の増減額(△は減少)	1,260	2,786
その他	1,007	1,115
小計	5,119	7,098
利息及び配当金の受取額	135	172
利息の支払額	△18	△20
法人所得税等の支払額	△3,428	△4,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,806	3,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,069	△8,833
定期預金の払戻による収入	3,719	6,825
有形固定資産の取得による支出	△1,044	△419
無形資産の取得による支出	△416	△610
投資の取得による支出	△0	△500
その他	318	△265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,493	△3,804
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△187
長期借入金の返済による支出	△125	△208
リース負債の返済による支出	△763	△792
配当金の支払額	△2,367	△2,488
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,256	△3,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,921	△3,499
現金及び現金同等物の期首残高	37,428	40,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,506	36,541

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第16号	有形固定資産	意図した使用の前の収入を有形固定資産の取得原価から控除することを禁止
IAS第37号	引当金、偶発負債及び偶発資産	契約が損失を生じるものであるかどうかを評価する際に企業がどのコストを含めるべきかを規定
IFRS第3号	企業結合	IFRS第3号における「財務報告に関する概念フレームワーク」への参照を更新
IAS第41号	農業	IAS第41号の公正価値測定の実施事項を他のIFRS基準の実施事項と合致
IFRS第9号	金融商品	金融負債の認識中止のための10%テストに含めるべき手数料を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主にボイラ、ランドリー機器及び関連機器等の製造販売・メンテナンスを手がけており、国内事業は当社及び国内連結子会社が、海外事業は海外連結子会社が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱い製品について各地域から包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、製造販売・メンテナンス体制を基礎として国内・海外事業別のセグメントから構成されており、「国内機器販売事業」「国内メンテナンス事業」「国内ランドリー事業」「海外機器販売事業」「海外メンテナンス事業」を報告セグメントとしております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、セグメント間の内部売上収益及び振替高は、市場実勢価格を勘案して決定された金額に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約 四半期 連結損益 計算書 計上額
	国内 (注) 1			海外 (注) 1						
	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業	ランド リー 事業	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業					
売上収益										
外部顧客への売上収益	10,879	8,616	2,427	3,793	1,707	27,425	12	27,438	—	27,438
セグメント間の内部売上 収益及び振替高	804	40	24	56	21	948	135	1,083	△1,083	—
計	11,684	8,656	2,451	3,850	1,729	28,373	148	28,521	△1,083	27,438
セグメント利益又は損失 (△)	338	2,383	△110	190	300	3,103	23	3,126	△40	3,086
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	182
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,249

(注) 1 報告セグメントの「国内」の区分は当社及び国内連結子会社、「海外」の区分は海外連結子会社の事業活動に係るものであります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループが行っている不動産管理、保険代理業等を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約 四半期 連結損益 計算書 計上額
	国内 (注) 1			海外 (注) 1						
	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業	ランド リー 事業	機器販売 事業	メンテ ナンス 事業					
売上収益										
外部顧客への売上収益	11,393	8,810	2,905	4,054	2,079	29,244	12	29,256	—	29,256
セグメント間の内部売上収益及び振替高	862	46	4	51	25	991	144	1,135	△1,135	—
計	12,255	8,857	2,910	4,106	2,105	30,236	156	30,392	△1,135	29,256
セグメント利益又は損失(△)	236	2,399	△43	350	299	3,242	20	3,262	△144	3,117
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	369
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	121
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,579

(注) 1 報告セグメントの「国内」の区分は当社及び国内連結子会社、「海外」の区分は海外連結子会社の事業活動に係るものであります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループが行っている不動産管理、保険代理業等を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。